

# 選ばれるまち、横須賀

～人づくりこそ、まちづくり～

## 第3のステージへの挑戦

### <目次>

- 1 地域経済の活性化
- 2 市役所改革
- 3 いのちを大切にする横須賀
- 4 水と緑に親しめる横須賀
- 5 人づくりのまち横須賀
- 6 市民が主役のまちづくり

※新規・拡充の項目に限定しています。

継続事業は掲載していませんが、これまで以上に気持ちを入れて実施していきます。

# 1 地域経済の活性化

## 横須賀中央を再生します

- ・横須賀の中央地区のグランドデザインとも言える「横須賀中央エリア整備構想図」を作成します。

→横須賀中央エリア整備構想図の作成

- ・民間が主導する再開発事業へ市として積極的な関与・支援を行い、早期事業化を目指します。

→再開発準備組合を2か所設立

- ・中央図書館・児童図書館・青少年会館などの施設を集約し、新たな地域活動の拠点として、「何でも調べられる、誰でも集える、遅くまで開館する」施設の開設を、中央地域の再開発事業と連携して検討します。

→新たな地域活動拠点の開設

- ・新港地区のさらなる発展を目指します。

→よこすかポートマーケットが営業している施設の未利用部分を活用

## 人口減少に向き合う改革

- ・拠点となる市街地のコンパクトなまちのデザインを可視化するため、「立地適正化計画」を策定します。

→立地適正化計画の策定

- ・地域特性や資源を生かした拠点ネットワーク型都市づくりを目指します。

→追浜駅前の都市計画エリアの拡大（再開発）

→プロ野球チームと連携した追浜地区のまちづくりを推進

→久里浜駅周辺の土地利用促進

→衣笠と三浦一族の歴史をつなぐまちおこしを支援

→浦賀奉行所跡地に防災（歴史）公園の整備

→浦賀ドックの史跡指定とその利活用方針の策定

→浦賀警察署移転後、当該地を取得し、利活用方針を策定

- ・不動産事業者と連携し、市街地や谷戸の中古住宅を結婚・子育て世代の「住まい」、または「仕事場」として活用してもらえる環境を整えます。

→子育てファミリー等応援住宅バンク等の成約数を毎年10件増

- ・横須賀を離れた若者が「親の近くで暮らしたい」と戻ってきやすくなるよう多世代同居（近居）を支援します。

→二世帯住宅リフォーム助成制度の拡充

## 市民の雇用の場・働きやすい環境をつくります

- ・市民に雇用の場を提供してくれる企業を誘致します。  
→ 1年に1社を誘致
- ・市民が就職しやすくなるよう市内事業者の情報を積極的に発信します。  
→ 就職希望の生徒を対象にした、高校と市内事業者とのネットワークを構築
- ・市内の事業所のモデルとなるよう、市役所でさまざまな取り組みを実施します。
  - 女性管理職の割合を20%まで増
  - 男性職員の育児休暇取得率 50%の実現 (H28年度11.0%)
  - 育児休暇中の在宅勤務を可能とするため、ICTを活用したテレワークを実施
  - 長時間労働の解消、時間外労働時間を15%縮減
  - 身体障がい者と同じように、知的障がい者、または精神障がい者を通年で雇用

## 市内の事業者を応援します

- ・市内事業者に優先的に発注できるよう、さらなる入札制度改革を進めます。また、年間を通じ、発注が平準化できるよう、さらに取り組みを進めます。
  - 繰越明許費を活用し、年間2億円の平準化を実現
  - 指定管理者の選定において、「地域貢献策」の評価項目をさらに重視
- ・米海軍および防衛省関連施設から地元企業への受注拡大に向け、さらなる検討を進めます。
  - 経済的な波及効果の検証方法の確立
- ・横須賀産の野菜や海産物のブランド力をさらに高めるため、PRや販路拡大などさまざまな支援を行います。
  - 「横須賀野菜」の認証制度の確立と海産物のブランド化
- ・商店街等への支援を強化します。
  - 外国人の買い物客が増えるよう、英語表記、クレジットカード利用などの環境整備
  - 市内限定商品券制度の検討

## 久里浜港のポートセールス

- ・定期航路の誘致を目指し、さらなるトップセールスを行います。
  - トライアル寄港の複数回実施

### 市内での起業を応援します

- ・「ヨコスカバレー」の取り組みなどを通じて、新規事業への挑戦を促す支援を行い、ICT関連事業者等の集積を目指します  
→ICT関連等の新規開業事業所数 15事業所
- ・産業振興財団の機能を拡充し、連携を強化します。  
→事業所開業率、県内一

### 市民も楽しめる観光立市

- ・横須賀ライフをさらに満喫してもらえるよう、商工会議所や事業者と連携して「市民割」の拡充に取り組みます。  
→美術館、ソレイユの丘、猿島での実施
- ・日本遺産をはじめとした近代歴史遺産を活用する手法の一つとして、他の旧軍港市3市と連携した客船クルーズの誘致を目指します。  
→年に1回客船クルーズ船を誘致
- ・民泊を推進し、修学旅行やインバウンドをさらに誘致するとともに、個人旅行者の受け入れや、受け入れエリアを増やすための支援を行います。  
→個人旅行者を受け入れるための環境整備  
→受け入れエリア数を増
- ・ゲームやアニメなど、サブカルチャーとも積極的に連携します。  
→新規タイアップ件数 2件以上

### 道路の整備

- ・西地区へのアクセス向上を図るため、横浜横須賀道路パーキングエリア付近のスマートインターチェンジの整備を実現します。  
→ルート設計を進め、平成32年度までに完成

## 2 市役所改革

### 重点投資と財政規律のバランスを保ちます

- ・これまでの財政規律を維持するとともに、市民のために十分な投資ができるよう、引き続き財政基本計画を策定します。  
→地域経済活性化のための財源を 300億円以上確保

### 公共施設の適正配置

- ・人口減少にしっかりと向き合うため、公共施設の適正な配置を検討・実施します。市役所内に専門組織を立ち上げ、市民の皆さんのご意見を取り入れながら、複合化や民間施設の間借りなど、柔軟な思考で取り組みます。  
→市役所内に専門組織を立ち上げ

### 市役所働き方改革

- ・市内の事業所のモデルとなるよう、市役所でさまざまな取り組みを実施します。**【再掲】**

### コンビニの活用

- ・市内のコンビニエンスストアで、住民票などの取得や税金などの納付を出来るようにします。  
→コンビニでの住民票などの取得や税金などの納付の実現

### 広報戦略の推進

- ・市役所がどんなに素晴らしい事業を実施しても、市民の皆さんに伝わってなければ意味がありません。市役所の情報をもっと皆さんに知ってもらうために、広報を戦略的に推進します。  
→ニュースリリースの件数を倍増（平成27年度比）  
→スカリンの活用を検討

### 3 いのちを大切にすゑ横須賀

#### 健康づくりの人づくり

- ・手軽に運動ができるよう、さまざまな取り組みを進めます。
  - 健康器具を15公園に設置
- ・サークルや文化活動を行っている皆さんの活動の場を確保するため、施設予約の不正利用を防止します。
  - 不正利用に対するペナルティ付与の制度設計
- ・部局の垣根を超えた健康増進や介護予防の取り組みを進めます。
  - 特定健診の受診率4%増
  - 介護保険の認定率を16%に引き下げ
- ・受動喫煙防止のための取り組みを進めます。
  - 関係機関と連携し、駅前等に物理的な分煙スペースを整備
  - 指定場所以外での喫煙を是正するための指導強化策の検討

#### 障がい者の働く場を確保

- ・特例子会社の誘致を実現させます。
  - 2社の誘致
- ・市役所での障がい者雇用の拡大を図ります。【再掲】

#### 防災体制の充実

- ・安心して住み続けられるよう、災害時に対応できる物資を十分確保するとともに、引き続き避難所の運営マニュアル整備に取り組み、有事に備えます。
  - 全避難所での運営マニュアルの整備
- ・道路・トンネル・橋梁・上下水道管などインフラの長寿命化・耐震化を進めます。
  - 定期的な点検、効果的な維持補修による長寿命化を実現
  - 市が管理する緊急輸送路に関する重要な橋梁の耐震化率を82%に向上
  - 主要な水道管耐震化率を85%に向上
- ・住宅の耐震化を進めるため、助成を行います。
  - 耐震リフォーム助成の実施

### 医療体制の充実

- ・うわまち病院の建て替えを検討します。  
→建て替え方針の策定

### 地域の見守り体制へのサポート

- ・民生委員・児童委員の負担軽減を図るとともに、地域での見守り体制を強化するため、民生委員と消防団員や婦人防火クラブとの連携を進めます。  
→モデル地域2か所での立ち上げ

### 介護支援

- ・老々介護・認知症介護などの問題に対し、さらに相談体制を充実させるとともに、周知啓発に努めます。  
→地域包括ケアシステムを推進し、特別養護ホームの待機状況を改善
- ・介護人材の確保、定着支援策について、検討を進めます。  
→外国人人材の活用手法を検討

### 生の尊厳を守り続けます

- ・在宅での孤立死ゼロを実現させるため、自殺対策はもとより、一人暮らしでも誰かに見守られながら療養生活を送ることができる、また、施設で暮らす方も、暮らし慣れた場所で最期を迎えられる環境をつくります。  
→施設での看取りも含めて、地域（在宅・施設）における看取りを25%に増
- 在宅死のうち、警察検案にまわる孤立死の半減

## 4 水と緑に親しめる横須賀

### エコツアー・里山再生プロジェクトの推進

- ・横須賀の誇るべき自然を体感してもらえるよう、エコツアーや里山の利活用を推進します。

→エコツアーフィールドを既存も含めて5か所整備

→野比かがみ田谷戸第2期分の再生

### 里山再生に関する条例の制定

- ・横須賀の自然を持続可能とするためにも、里山の再生に取り組みます。

→里山再生に関する条例の制定

### マリンスポーツの普及促進

- ・横須賀の海に親しめるよう、ウインドサーフィンをはじめとするマリンスポーツの普及促進を図ります。

→ウインドサーフィンワールドカップの継続開催

### 管理バーベキュー場の整備

- ・海を身近に感じられる場所で、手ぶらでもバーベキューが行え、ごみ問題など近隣の迷惑にならない管理バーベキュー場（グランピングなどを含む）を整備します。

→久里浜海岸ほか2か所で実施



## 5 人づくりのまち横須賀

### 待機児童対策

- ・待機児童ゼロを実現します。併せて保留児童の減少を目指します。  
→待機児童数ゼロの実現、保留児童数の減少
- ・特に女性や子育て中の方が働きやすい環境をつくれます。【再掲】

### 多様な保育ニーズへの対応

- ・保護者の負担を軽減するため、さまざまな保育ニーズに応えます。  
→延長保育、一時保育のさらなる推進  
→地域の皆さんやシルバー人材センターなどの協力を得て、塾や習い事の送り迎えなどのサービスを安価で提供できる仕組みづくり

### いじめ・不登校対策

- ・いじめや不登校の問題に対し、すばやく、そしてきめ細かく対応する相談体制を構築し、先生の負担を軽減します。  
→スクールカウンセラー、またはスクールソーシャルワーカーの増員

### 小児医療費助成の拡充

- ・子育て中の方の負担を軽減するため、小児医療費助成の対象を拡充します。  
→中学校3年生まで拡充

### 生きる力を身につける

- ・負の連鎖を断ち切るために、生活にゆとりのない世帯への支援を拡大します。  
→中学校3年生への学習支援を市内全域に拡大  
→より利便性や安全性を高めるため、奨学金の支給方法を検討

### こども園の早期開設

- ・幼保連携の趣旨を踏まえ、こども園の開設を進めます。また、こども園の整備を含む公立保育園の再編計画を改定し、早期開設を目指します。  
→公立を含めた認定こども園の整備促進

### 学力向上プロジェクトの推進

- ・学力を向上させるため、家庭学習習慣の確立を図ります。
  - 家庭学習のきっかけとして、「土曜寺子屋教室」を充実
  - 家庭と学校の連携を深めるため、「家庭学習カード」を充実

### 学童クラブへの支援

- ・保護者の負担を軽減するため、学童保育の保育料を軽減します。
  - 平均保育料を16,000円まで減額

### 子どもたちの活動拠点づくり

- ・子どもたちの活動拠点を学校と位置づけ、放課後でも学校で過ごすことができるよう取り組みを進めます。
  - 全小学校での学童クラブの開設
  - 全児童を対象とした、学力を高める放課後教室の整備
  - 学校裁量予算の増額
  - 学校選択制の見直し

### 中学校完全給食の実施

- ・温かいお昼ご飯を提供する中学校の完全給食を実施します。
  - 中学校完全給食の実施

### 部活動支援

- ・横須賀の子どもたちが全国大会（甲子園含む）やコンクールで活躍できるよう、部活動への支援を強化します。
  - 部活動指導者派遣人数の倍増（H29年度 体育関係 30人、文化関係 27人）

### プログラミングも学べるまち

- ・プログラミング教育を小学生・中学生を対象に実施します。
  - プログラミング教室を年間50回開催

### 障害児への教育

- ・誰でも平等に教育を受けられるよう、支援を強化します。
  - 私立幼稚園・保育園等に対する障害児受け入れ加算の増
  - 特別支援介助員の配置時間の増

### 生きた英語が学べるまち

- ・英語を身近に感じられるよう、外国人と交流できるさまざまな機会を提供し、英語の学力を向上させます。
  - 中学生の英検3級取得率、日本一
  - ALTの効果的な配置を検討
- ・グローバルで活躍できる人材を育成するため、国際バカロレア認定校やインターナショナルスクールなどを誘致します。
  - 国際バカロレア認定校等の誘致 1校

### スポーツを通じた夢づくり

- ・トップレベルのスポーツをもっと身近に楽しめるようプロスポーツチーム（野球・サッカー・バスケットボール）との連携を進めます。
  - プロ選手の学校訪問件数の増
- ・1,000人以上が集まる大規模スポーツ大会を開催・誘致し、間近で楽しめる機会を提供します。
  - 大規模スポーツ大会の新規誘致件数 4件
- ・不入斗公園（横須賀アリーナ）の駐車場を拡充します。
  - 駐車台数 100台増（現在 337台）
- ・シーサイドマラソンのコースとして、横浜横須賀道路を活用します。
  - 横浜横須賀道路をコースとして組み込んだシーサイドマラソンの実現
- ・東京オリンピックの事前キャンプを誘致します。
  - 複数競技、複数国の誘致

### 市内研究機関との連携

- ・市内研究機関と連携、または積極的な支援を行うことで、国際会議や学会等の誘致実現を目指します。
  - 国際会議や学会等の誘致件数 年2件

### 美術館改革

- ・従来の美術館機能を生かしつつ、さらに集客力を高めた新たな美術館へと変革できるよう取り組みを進めます。
  - 美術館を市長部局へ移管し、実技指導を組み込んだ総合的な美術講座「市民美術大学」を開設

## 6 市民が主役のまちづくり

### 地域活動の拠点づくり

- ・中央図書館・児童図書館・青少年会館などの施設を集約し、新たな地域活動の拠点として、「何でも調べられる、誰でも集える、遅くまで開館する」施設の開設を、中央地域の再開発事業と連携して検討します。【再掲】
- ・住民自らが地域のまちづくりを行えるよう、住民自治の拠点として「地域運営協議会」の設立とその後の運営を支援します。  
→中央地域の未設立地区における設立

### 市民が主役になるための環境整備

- ・市民公益活動ポイント制度を充実させるとともに、周知啓発を強化し、協働の輪を広げます。  
→利用可能施設の8か所増、ポイント券発行数の10%増
- ・自治基本条例の検討を行います。  
→条例の制定